

「ジュースできたよ」

ペットボトルに水を入れようとしている
2歳児のBちゃん。たらいの水の中に
ペットボトルを立て入れると
不思議そうに
首を傾げて
います。

Bちゃんは近くにあった ひしゃくを見つけると
たらいの水をくみ、ペットボトルに移し始め
ました。

Bちゃんが「ダイナミック」に入れる ひしゃくの水は
ペットボトルの糸目口にはなかなか入りませんでした。

Bちゃんは「あきらめず」に何度も ひしゃくの
水を入れ続けました。

やがて、
ペットボトルの
底に、水が少したまったことに気づいた
Bちゃんは「思わす」にっこり!

Bちゃんが「ひしゃくで」
いっしょけんめい入れた
ペットボトルの水は、
大切な「ジュース」に
変身しました。

Bちゃんは
ジュースを
そっと、カップに
そそいでくれました。

Bちゃん、
ありがとう。

じっくりと試したり、繰り返ししたりしながら
やり遂げた喜びが、次の活動への意欲に
つながり、ていこう援助していきたいと思っ
ています。

「ぼくのでんしゃ」

2歳児のCちゃんは、おもちゃの電車に
夢中です。

それ、ぼくのでんしゃ。
ここに置いてたか!

そこに やってきた
Dちゃんが「言いました。」

わかったよ。
Cちゃんはそこに
あった電車であそんで
いたんだね。
そしてDちゃんが
置いていたことは
知らなかったんだよね。
Dちゃんはおとこ
あそびたかったんだね。
困ったね。
どうしたらいいかなあ。

CちゃんもDちゃんも
思いを受けとめます。

複雑な気持ちを抱えたまま、しばらくDちゃん
に背を向けてあそんでいたCちゃんが
「ポッ」と立ち上がると、Dちゃんに電車を渡して
あげていました。

2人は
はれはれとした表情で顔を見合わせていました。

生活やあそびの中で、機会をとりながら
自分の思っていることを相手に伝えた
相手の思っていることに気づくことができるよう
援助していきたいと思っています。